

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…地域密着型特別養護老人ホーム たまゆの杜
 小規模多機能型居宅介護 ふるさと

会議開催日…令和8年1月29日(水) 13時30分より

開催場所… 隠岐共生学園 たまゆの杜 地域交流室

出席者

事業所	5人	利用者	0人
利用者家族	1人	地域代表者	1人
松江市職員	1人	包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他(民生委員)	0人

議事

1: 施設長よりあいさつ

2: 小規模多機能型居宅介護【ふるさと】の利用状況及び生活状況の報告

○登録者数: 29名

新規登録: 1名 退所者: 1名

平均介護度: 2.51

性別内訳: 男性 9名 女性 20名

平均年齢: 88.4歳 (75~101歳)

1日の通い平均: 13.9名

1日の泊り平均: 6.2名

1日の訪問平均: 2.1件 (居室掃除・シーツ交換・安否確認・入浴・買い物)

その他のサービス: 緊急時訪問

○生活状況

11月2日: いもほり、お団子作り

11月14日: たまゆ茶屋

12月24日: クリスマス会

1月15日: 新年会

月1回誕生会

定期ボランティア

毎週月曜 喫茶ボランティア

第2・第4木曜日 書道

第4水曜日 ピアノ演奏

月2回 水曜日 絵手紙

月1回 読み聞かせ

コロナ感染対策の未開催。

○施設内研修

11月：感染予防対策 12月：高齢者虐待防止の伝達研修 1月：リスクマネジメント

《地域密着型特別養護老人ホーム たまゆの杜》

令和8年 1月 29日現在

1：入居者状況（29名定員）

入居者数 29名

男性入居者 5名 女性入居者 24名

2：入居者要介護度

前回

要介護3	3名
要介護4	19名
要介護5	7名

要介護3 3名

要介護4 16名

要介護5 7名

3：平均介護度

前回

4.13

4.15

4：平均年齢

前回

87.6歳（63歳～101歳）

87.9歳

5：入居前の住所

玉湯町	20名	美保関町	1名	東忌部町	1名
上乃木	1名	雑賀町	1名		
宍道町	2名	東長江町	1名		
東出雲町	1名	浜乃木	1名		

6：入退院・入退居の状況

入院 12月2日 95歳 女性

12月20日 91歳 男性

12月27日 90歳 女性

12月28日 84歳 女性

1月10日 90歳 女性

退院 12月10日 95歳 女性

1月15日 91歳 男性

1月15日 90歳 女性

入居 11月29日 86歳 男性

11月30日 63歳 女性

12月4日 94歳 女性

12月18日 91歳 男性

1月29日 81歳 女性

退居 12月6日 82歳 女性
1月15日 84歳 女性

7: 特養レクリエーション等

各ユニット誕生会
作業療法士による集団リハビリ

12月24日クリスマス会

8, 「たまゆの杜」入居申込待機者

総待機者 36名

要介護5	7名				
要介護4	14名	在宅	8名		
要介護3	10名	施設	23名	計	31名
要介護2	4名				
要介護1	1名				
要支援2	0名	在宅	2名		
要支援1	0名	施設	3名	計	5名

4: 意見要望

施設:R7.12.19より特養、小規模に各1名ミャンマー人が入職。たまゆの杜は初めての受け入れ。環境、宗教の影響はあまりなく、また人柄が良く日本人と相性が良い国だと聞いている。

特養:利用者様から評判が良い。利用者様の横に座って関わることで利用者様の安心に繋がっており良い効果。言語の壁はあるが国は関係なくその人の人柄、対応である。技術面は少しずつ指導している。挨拶が気持ちよく出来ている。直ぐに手を差し述べる事ができる職員。ふらつく利用者様にすぐに気づいて支える、中腰で対応している職員に椅子を持って来る等。今後の成長を期待。

小規模:介護技術や知識は指導員と共にミャンマーの職員の状態を見て安全に確認しながらすすめている。飲み込みはとても早く、もっとやりたいと意欲も高い。ただ初めから何でもすると混乱や事故を招くため適正な指導を行っていく。コミュニケーションは利用者様の早口や方言に苦戦している様子。利用者様もミャンマーの職員が話しかける言葉に聞き返す場面あり課題だがフォローしながら進めていく。ミャンマー人の受け入れを通して改めて接遇、礼儀を見直す良い機会となった。

施設:AIロボットも進化していくと思うが暖かい人の手は今後も介護に必要。

包括:ヘルパーの人数が減っており職員の平均年齢も高い。若者の福祉離れも進んでいる。高齢者は自宅で生活したくても難しい状況。事業所と自宅に距離があるとヘルパーは勿論、デイサービスの送迎も難しい。

松江市:昨日違う施設の運営推進会議に出席した。そこではインドネシア人を雇用しておられ、インドネシア人は入浴介助の前にお祈りをされる。コミュニケーションは言葉が通じないこともあるが利用者様が「もういいわ。」と言われるも怒りにはならないと報告を受けた。男性の雇用が多い。

施設:管理者が外国の方で部下に日本人という事業所もある。

包括:1月6日の地震はどうだったか?

特養:入浴などは中止しフロアに移動し落ち着くまで待機した。中には前の地震のトラウマでPTSDを発症する方もおられ、ずっとゆれている感覚が続き薬で落ち着かれた。

小規模:地震発生後すぐに避難できるように窓開放を行った。落ち着くまで不安のある利用者の対応と、家族様が心配して数件連絡があったため状況説明を行った。自宅に帰るのが不安な利用者様がおられ泊りに変更した。

施設:ミャンマー人の受け入れについて、管理団体のケアが良く施設に来る前に教育、挨拶など指導し定着していた。安定して働けると今後、次に入ってくる外国の職員受け入れ時に指導なども出来る。

次回開催予定日:令和8年 3月 日()13:30~

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○